

ダイワファンドラップ 日本債券セレクト 投資対象とする投資信託証券の追加のお知らせ

2017年9月9日

平素はダイワファンドラップをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

「ダイワファンドラップ 日本債券セレクト」においては株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、指定投資信託証券の選定、組入比率の決定を行っておりますが、この度、投資対象とする投資信託証券の変更がありましたのでお知らせします。

投資対象として新たに追加する投資信託証券

当ファンドの運用助言者である株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言に基づき、投資対象とする投資信託証券の追加を9月9日に実施しました。

ネオ・ジャパン債券ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)

(追加する理由)

- 金利戦略とクレジット戦略の2つの戦略を用いることによって、安定的に超過収益を獲得することが期待できる点を評価したため。

(運用会社)

- 大和証券投資信託委託株式会社

大和住銀日本債券アクティブ・ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)

(追加する理由)

- 金利戦略とクレジット戦略の2つの戦略を用いることによって、バランス良く安定的に超過収益を獲得することが期待できる点を評価したため。

(運用会社)

- 大和住銀投信投資顧問株式会社

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

投資信託証券の状況

	対象資産	指定投資信託証券
投資対象となる既存の 投資信託証券	日本債券	マニユライフ日本債券アクティブ・ファンド
	日本債券	ダイワ・ダイナミック日本債券ファンド
	日本債券	明治安田日本債券アクティブ・ファンド
	日本債券	損保ジャパン日本興亜RMBSファンド
	日本債券	国内債券スイッチング戦略ファンド
	日本債券	NN国内債券ファンド
	日本債券	ダイワ日本国債ファンド - ラダー20 -
新規追加の投資対象となる 投資信託証券	日本債券	ネオ・ジャパン債券ファンド
	日本債券	大和住銀日本債券アクティブ・ファンド

指定投資信託証券の名称は略称です。詳細については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

以上

【ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ】
ダイワファンドラップ 日本債券セレクト

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 各ファンドの目的は、次のとおりです。

ファンド名	ファンドの目的
FW日本株式セレクト	わが国の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
FW外国株式セレクト	海外の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。
FW外国株式EM+	
FW日本債券セレクト	わが国の債券に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。
FW外国債券セレクト	海外の債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
FW外国債券EM+	
FW J-REITセレクト	わが国のリート（不動産投資信託）に投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。
FW外国REITセレクト	海外のリート（不動産投資信託）に投資し、信託財産の中長期的な成長と配当等収益の確保をめざします。
FWコモディティセレクト	コモディティ（商品先物取引等）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。
FWヘッジFセレクト	絶対収益 ^(注) の獲得により、信託財産の成長をめざします。 (注)「絶対収益」とは必ず収益を得るという意味ではなく、市場等の動きに左右されない(相対的でない)収益、という意味です。

(※)上記10本のファンドを総称して「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」といいます。

ファンドの特色

- 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」は、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。
 - 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」の購入の申込みを行なう投資者は、販売会社と投資一任契約の資産を管理する口座に関する契約および投資一任契約を締結する必要があります。
- 「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」を構成する各ファンドは、投資対象が異なり、投資信託証券への投資を通じて実質的な運用を行ないます。
FW 日本債券セレクトは、複数の投資信託証券^(注)への投資を通じて、わが国の債券に投資します。
(注)以下、「指定投資信託証券」といいます。
- 指定投資信託証券の選定、組入比率の決定は、株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、これを行ないます。
- FW 日本債券セレクトは、わが国の債券を実質的な投資対象とする複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

【ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ】 ダイワファンドラップ 日本債券セレクト

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

- ◆下記は、平成 29 年 9 月 9 日現在の投資信託証券（指定投資信託証券等）の一覧であり、今後、名称変更となる場合、繰上償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合があります。
- FW 日本債券セレクト

投資信託証券	運用会社	主要投資対象	ベンチマーク
マニユライフ日本債券アクティブ・ファンドM(FOFs用) (適格機関投資家専用)	マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社	わが国の債券	NOMURA-BPI(総合)
ダイワ・ダイナミック日本債券ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和証券投資信託委託株式会社		—
明治安田日本債券アクティブ・ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	明治安田アセットマネジメント株式会社		NOMURA-BPI(総合)
損保ジャパン日本興亜RMBSファンド(適格機関投資家専用)	損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社	RMBSおよびMBS	NOMURA-BPI・MBSインデックス
国内債券スイッチング戦略ファンド(FOFs用) (適格機関投資家私募)	アセットマネジメントOne株式会社	わが国の国債	—
NN国内債券ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	NNインベストメント・パートナーズ株式会社	わが国の債券	NOMURA-BPI(総合)
ダイワ日本国債ファンド－ラダー20－(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和証券投資信託委託株式会社	わが国の国債	—
ネオ・ジャパン債券ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和証券投資信託委託株式会社	わが国の債券	—
大和住銀日本債券アクティブ・ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	大和住銀投信投資顧問株式会社	わが国の公社債	NOMURA-BPI(総合)

ベンチマークについて

- NOMURA-BPI とは、野村證券が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。また、NOMURA-BPI・MBS インデックスは、野村證券が公表する国内で発行された公募 MBS の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPI および NOMURA-BPI・MBS インデックスは、野村證券の知的財産です。野村證券は、当ファンドの運用成績等に関し、一切責任ありません。

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

【ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ】
ダイワファンドラップ 日本債券セレクト

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用									
	料率等	費用の内容							
購入時手数料	販売会社が別に定める率 徴収している販売会社 はありません。								
信託財産留保額	ありません。								
投資者が信託財産で間接的に負担する費用									
	料率等	費用の内容							
運用管理費用 （信託報酬）	年率 0.4752% （税抜 0.44%）以内	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に 対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用 は、毎計算期間の最初の 6 か月終了日（休業日の場合翌 営業日）および毎計算期末または信託終了のときに信託 財産中から支弁します。							
		運用管理費用（年率）は、下表 A 時点の新発 10 年固定利付国債利回りに応じて、下 表 B の期間において、純資産総額に対して以下の率とします。							
		新発 10 年固定利付国債利回りが							
		イ． 2%未満の場合 年率 0.2376%（税抜 0.22%） ロ． 2%以上の場合 年率 0.4752%（税抜 0.44%）							
		<table><tr><th></th><th>A</th><th>B</th></tr><tr><td></td><td>前計算期末</td><td>毎計算期間の最初の 6 か月終了日（休業日 の場合翌営業日）まで</td></tr><tr><td></td><td>毎計算期間の最初の 6 か月終 了日（休業日の場合翌営業日）</td><td>毎計算期間の最初の 6 か月終了日（休業日 の場合翌営業日）の翌日から毎計算期間末 まで</td></tr></table>		A	B		前計算期末	毎計算期間の最初の 6 か月終了日（休業日 の場合翌営業日）まで	
	A	B							
	前計算期末	毎計算期間の最初の 6 か月終了日（休業日 の場合翌営業日）まで							
	毎計算期間の最初の 6 か月終 了日（休業日の場合翌営業日）	毎計算期間の最初の 6 か月終了日（休業日 の場合翌営業日）の翌日から毎計算期間末 まで							
投資対象とする 投資信託証券	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 年率 0.3024%*（税抜 0.28%*）～年率 0.3672%*（税抜 0.34%*） *投資対象ファンドにおける運用管理費用の上限を示しております。国債利回り水準等により変動する 投資対象ファンドの運用管理費用は、これを下回ることがあります。								
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 （平成 29 年 8 月時点）	新発 10 年固定利付国債利回りが 1%未満の場合 年率 0.437±0.05%程度（税込） 1%以上 2%未満の場合 年率 0.487±0.06%程度（税込） （実際の組入状況等により変動します。）								
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・ オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する 場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。							

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会